別紙2

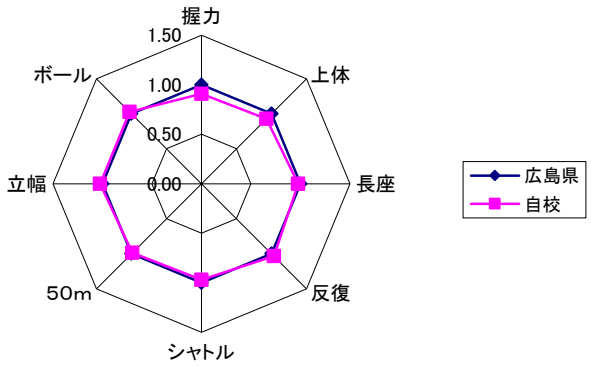
令和元年度後期　児童生徒の体力向上に関する指導方法等改善計画（小学校）

校番　7　呉市立　横路　小学

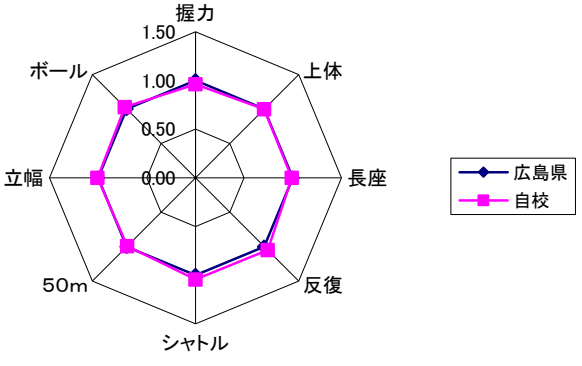
男子の体力合計点　学校　55．4　点　県平均　56．09

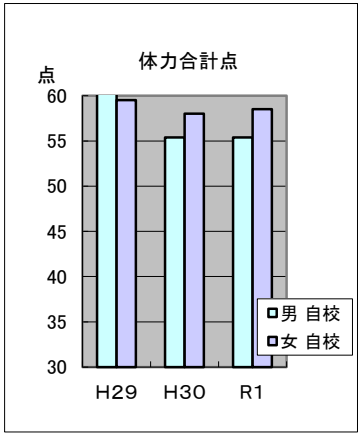
女子の体力合計点　学校　58．5　点　県平均　57．92

体力・運動能力調査比較（小5男子）



体力・運動能力調査比較（小5女子）





R1体力・運動能力調査の結果と分析

結果と分析　（全学年の状況も踏まえて記入すること）

① 50m走（呉市の課題種目）

・県平均を上回った学年が2学年あったが，他の学年は県平均に及ばなかった。

・『くれチャレンジマッチスタジアム』のダッシュリレーへの取り組みを推奨したが，徹底することができなかった。

②ソフトボール投げ（中学校区の課題種目）

・2年女子、4年女子以外の学年で，県平均を上回る結果となった。

・『くれチャレンジマッチスタジアム』のシャトルスローリレーの推奨や，ドッジボール大会の実施により，投の運動に取り組む機会を増やすことができた。今後も取組を継続していく。

③握力（自校の課題種目）

・ほぼすべての学年で，県平均を下回る結果となった。

・体育の授業で，ろくぼくやジャングルジムなどの遊具をサーキットトレーニングに取り入れ行っているが，休憩時間に利用している児童は少ない。

・握力計のグリップの調整が不十分だった可能性も考えられる。

課題解決のための今後の取組及び数値目標

①呉市の課題種目 （ 50m走 ） 具体的な数値目標 （ 男子0.2秒，女子0.1秒 ）	具体的な取組内容 ・呉チャレンジマッチスタジアム（ダッシュリレー）の大会を委員会主催で行ったり，各学年で更新回数を増やして継続的に取り組む。 ・体育科の授業でのサーキットトレーニングへの取組を徹底する。 ・元気タイムで走の運動に取り組めるよう，運動場の50mの走路を活用する。
②中学校区の課題種目 （ ソフトボール投げ ） 具体的な数値目標 （ 男子1m ，女子1m ）	具体的な取組内容（中学校区で1つ以上共通の取組を設定） ・呉チャレンジマッチスタジアム（シャトルスローリレー）の大会を委員会主催で行ったり，各学年で更新回数を増やして継続的に取り組む。 ・体育倉庫に常備してあるクラス人数分のボールを活用し，体育の授業で全員が投の練習を多くできるようにする。
③自校の課題種目 （ 握力 ） 具体的な数値目標 （ 男子2kg ，女子1kg ）	具体的な取組内容 ・ろくぼくやジャングルジム，うんていや鉄棒などの遊具遊びを推奨する。 ・元気タイムなど，休憩時間を長くとる日を作り，その時間で遊具を割り振って使うことで積極的に遊具遊びを行う時間を確保する。 ・握力計の数を増やして，練習にも十分時間を確保する。

※具体的な数値目標（記録の伸びを数値化）